

和光市アーバンアクア公園指定管理者選定委員会選定結果

1 選定の経過

事 項	日 程
第1回和光市アーバンアクア公園指定管理者選定委員会 (指定管理者の選定スケジュールの確定、公募要項等の検討)	令和7年4月10日(木)
公募要項等の公開開始	令和7年5月8日(木)～
募集説明会・施設見学会 (参加3社5名)	令和7年5月27日(火)
質問書の受付 (質問書提出2社44件)	令和7年5月27日(火) ～30日(金)
質問書の回答	令和7年6月10日(火)
申請書の受付(応募2団体)	令和7年6月16日(月) ～17日(火)
第2回和光市アーバンアクア公園指定管理者選定委員会 (第二次選考(面接審査):2団体)	令和7年6月27日(金)

2 選定委員会委員

役職	氏 名	備 考
委員長	よこやま えいこ 横 山 英 子	教育部長
委 員	かやま たくじ 加 山 卓 司	企画部長
//	ふくだ じゅんいち 福 田 順 一	都市整備部長
//	い い だ ろ か 飯 田 路 佳	体育施設に関する知識経験を有する者
//	よこむろ しずお 横 室 静 男	経営に関する知識経験を有する者

3 応募団体数 2団体

4 選定方法及び選定にあたっての考え方

(I) 第一次選考(書類審査)

第一次選考は、応募団体が4団体以下だった場合には実施せず、第二次選考のみ

実施するものとなりました。

第一次選考においては、選定委員会の各委員は、公募要項で示した選定基準の評価項目ごとに採点し、全委員の合計点数が高いものから順に4団体を第一次選考通過者とする事としました。合計点が同点の場合は、指定管理料の提案額が低い団体を上位としました。

ただし、全委員の合計点数が満点の7割に達しない者については、第一次選考通過者としないう事としました。

(2) 第二次選考（面接審査）

第二次選考は、プレゼンテーション及びヒアリングを公開にて実施しました。選定委員会の各委員は、公募要項で示した選定基準の評価項目ごとに採点し、全委員の合計点数が満点の7割に達した団体のうち、合計点数が最も高い団体を優先交渉権者とし、第2位の団体を次点交渉権者としました。合計点が同点の場合は、指定管理料の提案額が低い団体を上位とする事としました。

(3) 公募要項で示した選定基準の評価項目は、和光市公の施設に係る指定管理者の指定手続等に関する条例第4条に規定する基準を基本として、下表のとおりとしました。

選 定 基 準		
評 価 項 目	選 定 の ポ イ ン ト	配 点
1 指定管理者としての適正 (1) 施設の管理運営に対する理念、基本方針	・施設の管理運営に対する理念や基本方針が、施設の設置目的や、第五次和光市総合振興計画、第2期和光市スポーツ推進計画等、本市の計画及び施策等を踏まえたものになっているか。	10点
(2) 安定的な人的基盤	・長期間安定的な管理運営を行える人的基盤等を有しているか、または確保できる見込みがあるか。	5点
(3) 安定的な財政基盤	・長期間安定的な管理運営を行える財政基盤等を有しているか、または確保できる見込みがあるか。	5点
(4) 実績や経験など	・類似施設の管理運営やスポーツ事業の実施についての実績を有しており、成果を上げているか。 ・施設の管理運営に関する専門的知識や資格、経験を十分に有しているか。 ・スポーツ及び施設管理に関する幅広い知識や経験等を有しているか。	5点
2 管理運営計画の有効性 (1) 業務の実施体制、職員の研修・育成	・安全かつ効率的な業務が実施できる実施体制、責任体制となっているか。 ・複数の団体が共同して1つの応募団体となっている場合、それぞれの責任分担・役割分担・実施体制等が明確になっているか。 ・事業計画に沿った管理運営を安定して行うために、必要な知識と	10点

選 定 基 準		
評 価 項 目	選 定 の ポ イ ン ト	配 点
	経験を有した人材が確保されており、かつ人員配置及び勤務体制（ローテーションなど）が適正なものになっているか。また、夜間運用の実施に伴う人員配置及び勤務体制は適切か。 ・適切なバックアップ体制について具体的な提案がされているか。 ・業務水準向上のための職員育成や研修の計画が示されているか、またその内容が適切か。	
(2) 公平な利用の確保	・利用者の公平性を確保するための考え方や具体的な方法の提案がなされているか。 ・高齢者・障害者・外国人等を含む多様な利用者に対する支援・配慮について示されているか。バリアフリー、ユニバーサルデザイン、多言語化等の具体的な対応策が示されているか。	5点
(3) 施設の利用促進・情報発信	・施設の利用者増加や利用率向上に向けた具体的な提案がなされているか。 ・施設の情報発信や広報活動の取組が適切であるか。	5点
(4) 利用者サービス・利便性向上への取組	・利用受付・問い合わせなどの利用者対応（接遇対応）向上のための取組は十分に検討されているか。 ・公園という施設を活かした提案、利用者サービス・利便性向上につながる実現可能で具体的な提案がされているか。 ・利用者からの苦情・要望などを把握し、それらを管理運営に反映させる仕組みが十分に検討されているか。	5点
(5) 自主事業の計画	・地域の実情や施設の設置目的、施設の特性、本市のスポーツ振興施策、第2期スポーツ推進計画等を踏まえた、多種目・多世代・多様なニーズに対応できる自主事業の提案がなされているか。 ・サービス向上や利用促進につながる教室・イベント等の提案がなされているか。	5点
(6) 緊急時の対策	・日常の事故防止などの安全対策や事故発生時の対応などが十分に考えられているか。 ・防犯、防災対策や非常災害時などの危機管理体制などが十分考えられているか。（災害時における市への応援協力を含む。）	5点
(7) 施設の維持管理・施設の特性	・修繕や保守点検等の考え方が施設及び設備の設置年数及び現況を考慮した適切なものになっているか。 ・施設及び設備の維持管理水準の向上を図る具体的な実施方法が提案されているか。また施設・敷地内の美化を維持するための適切な提案がなされているか。 ・施設の特性を踏まえた効率的かつ安定的な維持管理に向けた取組がされているか。（各施設の個別管理計画が適切か。）	15点

選 定 基 準		
評 価 項 目	選 定 の ポ イ ン ト	配 点
	・夜間運用に必要な設備の整備・設備管理等は適切か。 ・外部業者へ委託する場合、その委託の範囲は適正で、かつ施設の管理が適切に行えるか。 ・危険箇所・破損箇所・不良箇所の発見やその措置について適切な提案がなされているか。 ・ライフサイクルコストの縮減や、環境負荷軽減に向けた具体的な提案がなされているか。 ・設備及び備品等の調達、管理及び更新に関しての考え方が適切で、かつ利用者満足度の維持・向上につながるものになっているか。 ・下水処理場上部空間の立地における特性を十分配慮しているか。	
3 管理運営経費の妥当性 (1) 収支計画	・収支計画は適切かつ実現可能であるか。 ・収入見込みは過大な収入が見込まれておらず、妥当かつ安定しているか。 ・必要な経費が計上されているか、また経費の見積りは妥当か。 ・事業計画書と整合性が取れているか。	10点
(2) 収入増加・経費縮減 の取組	・収入増加・経費縮減のための効果的で、実現可能な提案があるか。 ・サービスの低下を招くことなく、経費を縮減する提案であるか。	10点
4 その他	・個人情報保護の取組及び情報管理体制は適切か。 ・団体等の企業倫理、諸規定の整備や公正な労働条件の確保などの法令遵守の徹底に向けた取組は適切か。 ・地域経済貢献について具体的な提案があるか。(市内雇用並びに市内業者の積極的な活用等)	5点
合 計		100点

5 選定結果及び選定理由

(1) 選定結果

① 優先交渉権者

【共同事業体】和光スポーツパーク共同事業体

(代表構成員)株式会社クリーン工房

埼玉県さいたま市中央区新都心11番地2

さいたま新都心LAタワー30F

(構 成 員)株式会社セイカスポーツセンター

鹿児島県鹿児島市宇宿二丁目18番27号

総合得点 500点満点中 405点
※総合得点は委員5名の合計点

② 次点交渉権者

太陽スポーツ施設株式会社

東京都港区高輪三丁目4番1号

総合得点 500点満点中 351点
※総合得点は委員5名の合計点

(2) 「和光スポーツパーク共同事業体」の選定理由

- ① 公共施設であることを踏まえた、適切な人員配置を計画しており、緊急時対応も含めて、安定した管理運営が期待できる。
- ② 現指定管理者として、第一期指定管理期間において、自主事業などを企画し、利用者増加を実現するなど、着実に利用実績を積み上げた点が評価できる。
- ③ 施設の特性を踏まえた現実的な自主事業を計画していること、また地域団体からの積極的な事業参加希望も得られていることから、実効性のある、地域に根差した事業展開が期待できる。